

猿橋賞 News Letter 第3号 2020.2.11

一般財団法人 女性科学者に明るい未来をの会

第39回猿橋賞授賞式 2019年5月25日

さる2019年5月25日(土)、霞ヶ関ビルにおいて、第39回猿橋賞授賞式が執り行われました。受賞者は、東北大学金属材料研究所 新素材共同研究開発センター 准教授の **梅津 理恵** (うめつ りえ) 博士、受賞業績は「ハーフメタルをはじめとするホイスラー型機能性磁気材料の物性研究」です。



梅津 理恵博士

なかでも、ハーフメタルと呼ばれる特異な電子状態を持つホイスラー合金は、電子の電荷とスピンのそれぞれを制御するようなスピエレクトロニクス分野で有用な機能性材料であると期待されています。

梅津氏は、ハーフメタル候補物質である Mn_2VAl や Co_2MnSi 合金の良質な単結晶試料の育成に成功し、それらを用いて SPring-8 放射光施設にて実験に着手しました。そして、共鳴非弾性 X 線散乱実験を行い、ハーフメタル型強磁性体の電子状態観測に放射光がきわめて有効であることを示しました。

梅津氏はマンガン(Mn)、鉄(Fe)、コバルト(Co)、ニッケル(Ni)などを含む遷移金属合金・化合物の磁性の起源解明に向けた基礎研究を行っています。

X_2YZ (X,Y: 遷移金属元素; Z: 半金属・半導体元素) の分子式で表されるホイスラー合金と呼ばれる物質群は、形状記憶特性や超弾性、巨大磁気熱量効果など様々な機能を有し、実用材料として盛んに研究されています。

ホイスラー合金単結晶試料の育成と放射光実験

Mn_2VAl 単結晶

Co_2MnSi 単結晶

[100]



丸善出版(映像)
日本を変えた女性たち5

受賞記念講演に続き、特別企画として「猿橋勝子先生のDVDの上映」と「前会長米沢富美子氏を偲んで」米沢氏の女性科学者に明るい未来をの会と物理学への貢献を辻和彦理事が紹介されました。

「猿橋勝子先生のDVDの上映」：丸善出版社から2018年に発売された「日本を変えた女性たち」は、女性の教育環境や活躍の場が極めて限られていた時代に、日本社会を動かした女性たちを紹介するDVDで、彼女たちが活動に至った強い思いや、功績、時代背景等を描き、今の日本社会にもたらした影響を収録しています。

猿橋勝子先生は、女性科学者のパイオニアとして紹介され、「生い立ち、進学、就職」「分析の達人としてビキニ水爆の死の灰の分析」「戦後初の女性博士号修得」「核実験の分析から核兵器の恐ろしさと世界平和を訴え」「女性科学者の地位向上のための活動」「女性科学者に明るい未来をの会の設立、理事会風景」「猿橋賞の意義」が20分に編集されていました。懐かしい猿橋先生にお目にかかれ、また、猿橋先生を知らない受賞者たちも、参列者は皆映像に見入っていました。



「前会長米沢富美子氏を偲んで」：米沢氏と同じ研究室でご研鑽を積まれた辻理事が、各スライドに米沢氏の明るい笑顔の写真を盛り込んで、「猿橋賞受賞研究、他、アモルファス（非結晶物質）研究内容」、「女性科学者へ明るい未来の会会長として任意団体から一般財団法人化へのご尽力」、「退職後に書かれたたくさんの著書」をご紹介下さいました。

猿橋先生亡き後、猿橋賞授与の継続をリードさ

れてきたパワフルな米沢先生に感謝し、ご冥福をお祈りしました。

下段に辻理事、高橋評議員の記事を掲載しています。

授賞式に引き続き、懇親会が開催されました。懇親会には、梅津博士の同僚の方々、ご家族の方々のご参加をいただき、会場のあちこちで笑顔が咲く和やかなひと時でした。東北大学金属材料研究所長高梨弘毅先生のご



祝辞に続き、東北大学大学院工学研究科教員沼亮介先生の乾杯のご挨拶、愛知大学地域政策学部教授功刀由紀子先生（前日本女性科学者の会会長）のご祝辞、ご家族のお話がありました。梅津氏のお人柄が想像されるご祝辞やご家族のお話でした。

今年の受賞者の参加者 18 名。最後に SARUHASHI39 集合写真をパチリ。

後進の女性科学者へのエールを送り続けることを心に誓い、年に一度の授賞式は幕を閉じました。

第 40 回猿橋賞授賞式 令和 2 年 5 月 23 日（土）霞ヶ関ビル 35 階 東海大学校友会館「富士の間」です。40 周年記念パネルディスカッションを予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

米沢富美子先生を偲んで。

2019 年 1 月 17 日、前会長の米沢富美子先生が逝去された。80 歳だった。

米沢さんは 1984 年に第 4 回猿橋賞を「非結晶物質基礎物性の理論的研究」で受賞された。1994 年からは、女性科学者に明るい未来をの会の役員として会の発展に貢献された。2010-2017 年は会長、2017-2019 年は名誉顧問を務められた。この間、メディアからの委員の協力を得ながら、猿橋賞の地位を高く維持することに尽力された。

米沢さんは不規則系の理論的研究において多くの業績をあげておられる。実験のわかる理論家として、理論、実験の両グループをまとめる研究をされた。また、コンピュータを用いて原子の運動をミクロに調べることが不規則系の物性研究に有用であることに初期の頃から着目されていた。

私は米沢さんとは、慶應義塾大学で共同のセミナーを続けたほか、2001 年の第 11 回液体及びアモルファス金属国際会議の開催や、女性科学者に明るい未来をの会の法人化、「人物でよむ物理法則の事典」の編集などで共同作業を行った。

米沢さんは女性研究者の先駆者として評価され、女性科学者の目標となり励みを与えている。猿橋賞の他、エイボン女性大賞、ロレアル-ユネスコ女性科学賞など、女性科学者に与えられる賞を多く受賞し、福沢賞も受賞している。また、米沢さんは日本物理学会会員の選挙によって、女性初の会長に選ばれている。日本物理学会では、米沢富美子さんの業績を記念して、女性会員を奨励するため、日本物理学会米沢富美子記念賞が設立された。

辻和彦

お別れの会。

平成が正に終わろうとしていている 4 月 23 日、「米沢富美子さんお別れの会」が日本記者クラブホールで行われた。会場には、呼びかけ人等が 5 つのブースを設け、著書やポスター展示が行われた。「女性科学者に明るい未来をの会」も呼びかけ人として、米沢富美子名誉顧問（前会長）の「未来をの会」への貢献を示すポスター展示を行なった。著書・訳書のブースには、30 冊を超える専門書や一般向け著書が並んでおり、執筆の多さを再認識させられた。

最近のご自身の研究の集大成となる 2 冊の専門書を完成、その 1 冊の英訳本「Physics of Metal-nonmetal Transitions」は 2017 年に IOS Press から出版され、2 冊目の「不規則性の物理」（2015 年岩波書店）の英訳本作成の真っ最中だったとのこと。

祭壇はお好きだった赤の花で飾られ、お写真は口元に微笑みを浮かべた赤いセーターの先生だった。会場には、先生の人生を辿るスライドが流されていた。自分に限界を引かずに挑戦し続ける人生、あれかこれかではない沢山の「あれもこれも」の感動的な人生を映し出していた。最後の映像は、1 月 6 日に旅仲間グループの新年会から帰る後ろ姿だった。

長女のルミさんのお話では、先生は 4 月に脳梗塞で倒れられ、その後驚異的に回復、執筆活動や講演にも復帰されていたが、1 月 17 日に急性心不全によって急逝された、とのこと。母親としての先生は、先輩でもあり親友でもあった、と語っていた。「未来をの会」の発展に強烈な指導力を発揮し尽力された姿に感謝するとともに、ポジティブに生きる姿勢を心に留め続けたい、と思う。

高橋三保子（第 10 回受賞者）

連絡先 〒171-0022 東京都豊島区南池袋二丁目 49-7 池袋パークビル 1F 一般財団法人 女性科学者に明るい未来をの会

Email: saruhashi2020@saruhashi.net HP: <http://www.saruhashi.net/index.html>

会の活動を支える賛助会員を募集しています。皆様のご加入をお待ちしております。詳しくは HP をご覧ください。